

日野市・国分寺市・小金井市による可燃ごみ処理施設の建設がスタートします!

日野市・国分寺市、小金井市は、1月16日に「新可燃ごみ処理施設の整備及び運営に関する覚書」を締結しました。今後は、3市の市民・事業者・行政が一体となって環境施策を取り組み、ごみ減量の推進とさらなる循環型社会の形成を目指します。

今後は、施設の規模、公害防止の設備方式などを決める基本設計や、計画している焼却処理施設が周辺地域の環境に影響を及ぼす可能性があるかなどを調べる環境アセスメントを実施します。

3市のノウハウを集結してさらなるごみの減量を! 国分寺市・小金井市のごみ減量施策を紹介

日野市、国分寺市、小金井市の3市は、ごみ処理の広域化を契機に、3市協力してごみ減量に取り組みます。

エコ今号では、国分寺市、小金井市で行っている減量施策を紹介します。

今後は3市のノウハウを集結し、さらなるごみの減量を目指していきます!



国分寺市のごみ減量化・資源化施策

国分寺市では、「より一層のごみの減量化・資源化を図る」ことを目的とし、平成25年6月から家庭ごみのうち「もやせるごみ」と「もやせないごみ」の有料化を実施しました。

1.市民への啓発活動

①もやせるごみの水きり(ひとしぼり)

プラス天日干し運動

生ごみの水きり(ひとしぼり)をすることにより、1世帯1日50gが減量できます。各種イベント、自治会などを対象とした分別体験説明会を実施し、PRチラシの配布など啓発活動を行っています。



②分別徹底の啓発活動

資源化できる紙類、プラスチック類や資源プラスチックの分別の徹底を図るため、市報、ホームページ、ごみ情報紙などを通じて分別の徹底を啓発しています。また、自治会などへの分別説明会や各種イベントを通じて啓発活動を実施しています。

2.生ごみたい肥化の推進

①生ごみのたい肥化事業

生ごみを資源として有効活用するため、自治会や自主グループなどの世帯を対象に排出などに関して一定のルールを定め、生ごみを「もやせるごみ」と分けて収集し、たい肥にする事業を行っています。



ごみけしくん

②生ごみ処理機器の助成

市と事業者で共同開発した「ごみけしくん・ごみけしくんミニ」や「市販型の家庭用生ごみ処理機器」の購入費用を助成しています。



ごみけしくんミニ

3.こくぶんじ育ちの作製・販売

回収した雑誌、包装紙、封筒などを原料として、古紙100%のトイレトペーパー「こくぶんじ育ち」を作り、販売しています。



4.国分寺環境まつりの開催

ごみの減量および資源の再利用を考え、環境と調和したリサイクル型都市の形成を目指し、国分寺環境まつりを開催しています。

本年度は「減量化・知恵と生ごみひとしぼり 目指そう25%減」をキャッチフレーズとし、企業や市民団体による環境への取り組みを展示・実演などを行いました。



5.陶磁器、金物類、小型家電の拠点収集の充実

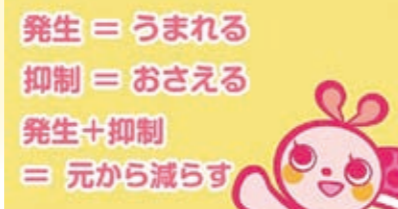
食器類の「陶磁器」、やかん、傘などの「金物類」、携帯電話、音楽プレーヤーなどの「小型家電」の拠点収集を実施し、もやせないごみの減量化・資源化を図っています。

小金井市のごみ減量化・資源化施策

1.市民への啓発活動

ごみを元から減らす発生抑制(リデュース)、使えるものを再使用する(リユース)、資源を再生利用する(リサイクル)という「3R」への取り組みについて、周知徹底を行っています。特に、生ごみの水切りなどの発生抑制については最優先で啓発活動を行い、ごみの減量化を図っています。

具体的には、水切り袋などの啓発グッズを配布し、ごみ減量駅前キャンペーン活動、ごみ減量啓発用アニメーションDVDや冊子を活用し、市内小・中学校や各イベントなどで出張講座を随時実施しています。



2.生ごみ減量化施策

生ごみ減量化処理機器の購入費用の80%を補助しています。また、乾燥型電動生ごみ処理機を使用している方を対象に、生ごみ乾燥物の戸別・拠点回収を実施することで生ごみの減量化を図っています。

回収された乾燥物はたい肥化され、市民に無料配布されており、市民農園などで使用されています。



3.雑紙の分別施策

新聞や雑誌の他に、燃やすごみに混入しているメモ用紙やはがきなどの雑紙も資源になることを周知し、分別を徹底するために、雑紙リサイクル袋を作成して無料配布しています。

「雑紙は混ぜればごみ、分ければ資源」になることをチラシの全戸配布や出張講座の開催、市報、ホームページなどで繰り返し周知を行っています。



4.枝木・雑草類、落ち葉の分別施策

燃やすごみの減量およびリサイクルの推進を目的とし、家庭で剪定した枝木、雑草類、落ち葉を資源物として無料で回収しています。